

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ)の実施結果(令和7年度)

事業評価

1. 非常に有効であった。
2. 有効であった。
3. 有効とは言えない。

計画 (PLAN)			実施 (DO)		評価 (CHECK)								改善 (ACTION)			
No	事業名	事業概要	実績額	実施結果	本事業におけるKPI・課題・主な事業費 (単位: 千円)							外部有識者からの評価		今後の取組		
			単位: 円									事業評価	意見			
1	道の駅根来さくらの里に ぎわい創出計画	府県間道路に立地する直売所機能を有する道の駅において、施設設備を通じて集客力の向上を図り、地元農家や商工会等の関係者が活躍できる場を創出する。 これにより、地元農産物の販売促進による産業の活性化を図るとともに、市の観光PRの強化による交流人口の増加を促進し、市の活性化を推進する。 地元農家の収益機会を創出するべく、にぎわいスペースの確保として店舗前に屋根を設置するとともに、農産品の魅力を訴求するための店内外の陳列棚の整備、キャッシュレス決済に対応したレジの導入等を実施した。 加えて、観光案内機能の充実を図るべく、Wi-Fi環境の整備および市内観光資源等の映像を発信する大型モニターを設置し、農業団体や商工会等の関係者と連携して、交流人口の増加を図った。	R6 95,218,200 (交付金充当額 37,829,307)	令和6年度に実施した改修工事により、施設機能の向上は見られたものの、工事期間中の駐車場台数の一時的減少により、特に週末に訪問を予定していた来訪者が駐車を断念し、立ち寄りを見送る事例が発生した。 その影響により、一定期間において来客数の減少が見られた。 一方、令和7年3月15日に開催したリニューアルオープンイベントには650名が来場し、当日の売上は1,896,787円に達するなど、一定の成果が得られた。	本事業におけるKPI		事業開始前		R6	R7	R8	R9	増加分の累計	1. 非常に有効であった。	本事業により、キャッシュレス決済の導入をはじめとした店舗の利便性向上が図られ、来訪者の利用満足度の向上にもつながったと評価できる。 こうした改修は、今後のさらなる集客促進に向けても有効であったと考えられる。 今後は、整備されたにぎわいスペースや休憩室を効果的に活用し、情報発信機能を強化することで、来客数の回復と地元農家・商業者の活躍の場の創出が期待される。 また、地域の観光資源を紹介する発信拠点としても積極的に活用されることを望む。	店舗売上の増加を通じて、出荷者の販売意欲を高めることを目指す。そのため、売上拡大につながる企画の実施とともに、SNS等を活用して情報発信を強化し、定期的な購買行動が期待できるリピーター顧客の獲得を進めていく。
					岩出市における農林水産出荷額(千円)	102,278千円										
							実績値	△360					△360千円			
					道の駅根来さくらの里の年間売上(千円)	215,576千円	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000千円				
							実績値	18,187					18,187千円			
					道の駅根来さくらの里の年間来場者数(人)	91,877人	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000人				
							実績値	△7,427					△7,427人			
					市内観光客動態調査(人)	1,384,356人	目標値	100,000	100,000	100,000	100,000	400,000人				
							実績値	△274,263					△274,263人			
					課題		施設整備に際し、従来からの利用者(道の駅ファン)離れを防ぐため、工事を休憩所と売場の2期に分け、休憩所完成後はそれを仮設売場として営業を継続しつつ、安全面に最大限配慮した工事を実施した。しかしながら、結果的に来客数の減少は避けられなかった。 今後は減少した来客数の回復に取り組む必要がある。									
主な事業費 (単位: 千円)		道の駅売店改修・屋根設置等工事: 95,219千円														